

<様式1>

令和3年度 さいたま市立与野西北小学校 自己評価書

校長 書上 敦志



1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

(1) 豊かな人間性と健やかな体の育成

評価項目①「人権教育の推進」

評価項目②「道徳教育の充実」

評価項目③「インクルーシブ教育の推進」

(2) 「真の学力」の育成

評価項目④「GIGA スクール構想に基づいた情報活用能力の育成」

評価項目⑤「基礎学力定着の取組実践」

評価項目⑥「G・S指導の充実」

(3) スクール・コミュニティによる連携・協働の充実

評価項目⑦「情報提供体制の構築」

評価項目⑧「家庭・地域による教育活動の推進」

(4) 働き方改革と指導体制の構築

評価項目⑨「働き方改革の推進」

評価項目⑩「積極的な生徒指導と教育相談体制の充実」

2 評価結果について

評価項目①、②、⑤、⑦、⑧、⑩に関しては、児童・保護者・教職員の3者共が9割以上の肯定的評価をしている。特に評価項目①にかかわる質問「いじめや差別を許さない指導をしている」については、ほぼ10割の児童・保護者が肯定的評価をしている。また、評価項目⑤にかかわる質問「わかりやすい授業」については、児童、保護者とも9割5分近くが肯定的評価をしている。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

評価項目③「インクルーシブ教育」については、特別支援学級「なかよし学級」と通常学級での交流の持ち方の工夫をする、合理的配慮についての教職員研修を進めていく。評価項目④「GIGA スクール構想」については、校内でコンピュータ活用能力検定を進め、児童の中にエバンジェリストの育成をしていく。評価項目⑥「G・S指導」については、児童は肯定的評価であるが、保護者の評価が低かった。このことから、児童の活動や学習成果物を家庭に広く伝える方策をとることが必要と考える。評価項目⑨に関しては職員のみによる評価であるが、肯定的評価が7割弱にとどまった。他校の働き方改革の実践や校内でのよい実践を広く周知したり、NO会議デー、NO残業デーの確実な実施を進めたりすることで、働き方改革をより進めていく。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。